



信州の環境と知に根ざしたESDコンソーシアムの形成

信州ESD通信

No. **35**

2020.7.30

信州 ESD
コンソーシアム
事務局



2019年度の「信州ESDコンソーシアム成果報告書」を作成しています

2016年2月の信州ESDコンソーシアム設立から4年が経過しました。長野県内でのESD推進を目的に活動してきた成果が毎年記録されています。報告書に先駆けて、この4年間のコンソーシアムの活動概況を紹介します。

長野県内の参加ユネスコスクールは2016年には5校でしたが、2017年には17校と急増し、2018年、19年には18校とやや増加しました。現在、ユネスコスクールのチャレンジ期間中の学校や申請を考えている学校もあり、今後とも増加が期待されます。こうしたユネスコスクールを支援する地域組織や教育委員会などの学校関連組織のコンソーシアムへの参加も2016年には12、2017年には19、2018、19年には21、と着実に増加しています。こうしたユネスコスクールや支援組織の増加によってESD研修やセミナー、ワークショップなどの主催・共催・協力などの事業も増加してきており、2016年2月の発足時には2事業だったものが、2017年には14、2018、19年には23事業と着実に増加しています。また、毎年ユネスコスクール全国大会に県内教員を研修派遣しており、2017年には10名、2018年には14名、2019年には10名を派遣し、県内外の教員の交歓、交流を図ってきました。その他、コンソーシアムのコーディネーターによるユネスコスクールや申請を考えている学校への個別支援なども年々増加しており、県内での信州ESDコンソーシアムによるESD活動は着実に進展していると考えられます。

ただ、2020年度は世界的な新型コロナウイルスの流行などにより、ユネスコスクール申請やチャレンジ校の認定などの事務手続きがやや停滞していますが、コロナ後の新しい教育においてもESDはその重要な基盤を提供しうるでしょう。今後とも、関係者、関係諸機関のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

なお、4年間の報告書の表紙を掲載しましたので、比較してご覧ください。信州の四季の風景を配し、その中に子どもたちの活動を表しました。お楽しみいただければ幸いです。



信州ESD通信

No.35 2020.7.30

発行：信州ESDコンソーシアム事務局 編集：渡辺隆一
〒380-8544 長野市西長野6 信州大学教育学部
事務局：清水・高橋 TEL026-238-4034 kyoesh@shinshu-u.ac.jp